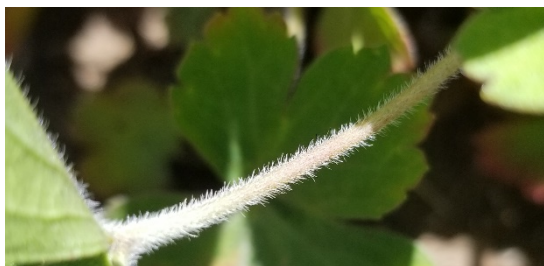
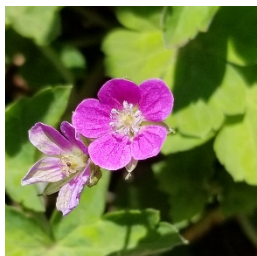


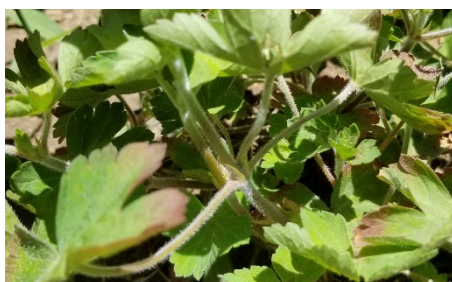
## -ゲンノショウコ(現証拠)-

学名: *Geranium thunbergii* SIEBOLD et ZUCC

フウロソウ目フウロソウ科



全草に細毛



葉は対生し有柄。

Photo Credit: Naoki Kimura

東京理科大学薬草園



葉身は3-5裂掌状。

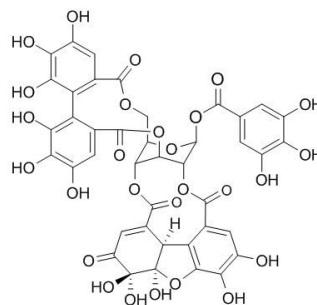
裂片は倒卵形、鋸歯縁。

使用部位:地上部

成分:ゲラニン(タンニン)

主な薬効:整腸,止瀉

確認試験:塩化鉄(III)試液



ゲラニン

現の証拠、効き目がすぐに証拠となって現れるの意味。さく果は長いくちばし状で、熟すと傘状に開くため神輿草(ミコシグサ)という別名ももつ。日本各地の日当たりのよい山野や道端でごく普通に見られる。多年草である。ドクダミ、センブリとともに日本三大民間薬の一つである。開花期直前(初夏)にタンニン量が最も高くなる。味は渋い。

参考文献

第6版天然医薬資源学 竹田忠紘 他 廣川書店

薬用植物学改訂第7版 水野瑞夫 南江堂

生薬単 伊藤美千穂 NTS